

## 2021センバツ高校野球

### 開会式、選手宣誓全文のご紹介

宣誓。きょうここに高校球児の憧れの舞台である甲子園が戻ってきました。この1年、日本や世界中に多くの困難があり、それぞれが大切な多くのものを失いました。答えのない悲しみを受け入れることは苦しくてつらいことでした。

しかし、同時に多くのことを学びました。当たり前だと思っていた日常は誰かの努力や協力で成り立っているということです。

感謝。ありがとうございます。これは出場校すべての選手、全国の高校球児の思いです。

感動。喜びを分かち合える仲間とともに甲子園で野球ができることに感動しています。

希望。失った過去を未来に求めて希望を語り、実現する世の中に。

そして、この3月で東日本大震災から10年となりました。日本、世界中に多くの協力や支援をいただき、仲間を支えられながら困難を乗り越え、10年目、あの日見た光景から、想像できないほど希望の未来へ復興が進んでいます。これからの10年、私たちが新しい日本の力になれるように歩み続けます。

春は選抜から。おだやかであざやかな春、そして1年となりますように。2年ぶりの甲子園、一投一打に多くの思いを込めてプレーすることを誓います。

令和3年3月19日、仙台育英学園高等学校 主将、島貫 丞

(ニュース記事より)